

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」袋井校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	定員が1時間に2名程度になるようにしている。パーティションで区切って個別のスペースで行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	5	2	保育士、児童指導員の有資格者で行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	課題を行う場所、遊ぶ場所をパーティションで区切るなどして可視化している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		毎時間後にアルコール消毒を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		事業所の評価表は100%記入していたことができた。	今後、できるだけ保護者の意向に沿えるよう業務改善に努めたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		校舎職員全員で共有し、改善点を話し合った。	今後、ホームページと、校舎ロビーにて公表の予定。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		第三者評価については検討中。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		様々な研修に年間を通して参加している。コロナ禍でオンラインでの参加が増えた。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		児発管が作成している。	

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		アセスメントシートを活用して支援内容を検討、実施している。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインの内容に照らし合わせて支援内容を選択している。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		複数の指導員で支援を担当し、検討している。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		月替わり工作や季節に因んだ小集団活動を行っている。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		児発管が作成している。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝の申し送りや指導員同士の声掛けで確認している。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		緊急の必要のある内容は終了時に連絡している。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		各指導員が担当した支援について記録し、他指導員がそれを共有できている。		
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		半年ごとに指導員と保護者のモニタリングを行っている。		
	関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児発管と指導員が参画している。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		保護者の要望があれば行う。事前に連携についてお伝えしている。	市の子ども早期療育支援センターにて研修。

者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケアが必要な利用児はいない。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要な利用児はいない。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		7	保護者の要望があれば行う。移行支援について、情報をお伝えしている。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		7	保護者の要望があれば行う。移行支援について、情報をお伝えしている。	市の取り組みとして行っているところもあるが、袋井市は行っていない。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		子ども早期療育支援センター「はぐくみ」にて研修。	今後も定期的に研修を行う予定。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7		浜松市はんだやま保育園にて実習。	今後も定期的に研修を行う予定。
保護者への説明責任等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		中遠地域の子ども部会へ参加している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		家庭や園での様子をお聞きし、支援の様子をお伝えしている。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5		ペアレントトレーニング等、今後検討したい。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		児発管が行っている。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		半年ごとにモニタリングを行い、同意を得て計画を作成している。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		毎回支援後やモニタリング、面談等で行っている。	

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		ファミカフェ実施 11/3,23	来年度、複数回の実施予定。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		来所時や事業所内相談、家庭連携についてお伝えし、その場での相談にも対応している。		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		ブログやLINEで定期的に情報発信をしている。		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7		書庫に鍵をかけ、管理している。		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		視覚補助や動作を付けたりしている。		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・市のスポーツ推進員からニュースポーツの指導を受けた。 ・市のスクールサポーターから防犯指導を受けた。 ・市消防署にて救命講習を受けた。 ・地区祭りの花飾り等で交流。 	防災訓練(水害)で、高所避難の連携を呼びかけたい。	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		社内の各委員会でマニュアルやチェックシートを作成。	
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		保護者の送迎、1時間枠の支援であることから行っていないが、契約時に避難場所等の説明をしている。	
		④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		基本情報シートに記入をお願いしている。毎回来所時の体調確認を行っている。	
		④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		食事の支援は無いが、お菓子を配る際には、アレルギー	

				一に注意し、保護者に確認している。	
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		校舎内で共有、上長へ報告し再発防止に努めている。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		定期的に研修を受講している。毎月、チェックシートで振り返りをしている。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		必要に応じて、同意書を作成、また個別支援計画の面談時に記載確認。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」袋井校

保護者等数（児童数）：7(7) 回収数：7 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1				活動場所を区切ることで各スペースを確保します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1				保育士、児童指導員が支援します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			1		課題を行う際とお楽しみを行う際の場所を区切っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1				毎時間後にアルコール消毒をしています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7					支援内容の検討と保護者のニーズの検討を行っています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7					ガイドラインを踏まえ、支援計画、内容を設定しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					計画に沿って行っています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7					月替わりの工作や季節ごとの小集団活動などを行っています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	4		利用者の園との交流を検討します。
保護者	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					契約時の説明と、玄関ロビーでの情報提供を行っています。

への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					モニタリング時に説明を行っています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	3		1		ペアレントトレーニングを検討します。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7					来所時やモニタリング時に家庭や園での情報を共有しています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1				要望に応じて、事業所内相談でも行っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4		2	1		ファミカフェ実施(11/3,23)来年度も複数回、実施します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7					要望に応じての事業所内相談やまた、ブログやLINEでも相談の声掛けをしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					児への視覚補助や動作、声掛けの共通化など工夫しています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7					ブログやLINEで定期的に情報提供をし、自己評価の結果はホームページで公表します。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7					書庫に鍵をかけて保管しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7					各委員会にてマニュアル作成やチェックシートにて振り返りを行っています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6			1		児発の時間帯の避難訓練は、来年度に開催します。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1				楽しく活動をしていただけるよう心掛けて支援しています。

⑭	事業所の支援に満足しているか	6	1				利用児と保護者に満足していただけるよう今後も務めてまいります。
---	----------------	---	---	--	--	--	---------------------------------

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。